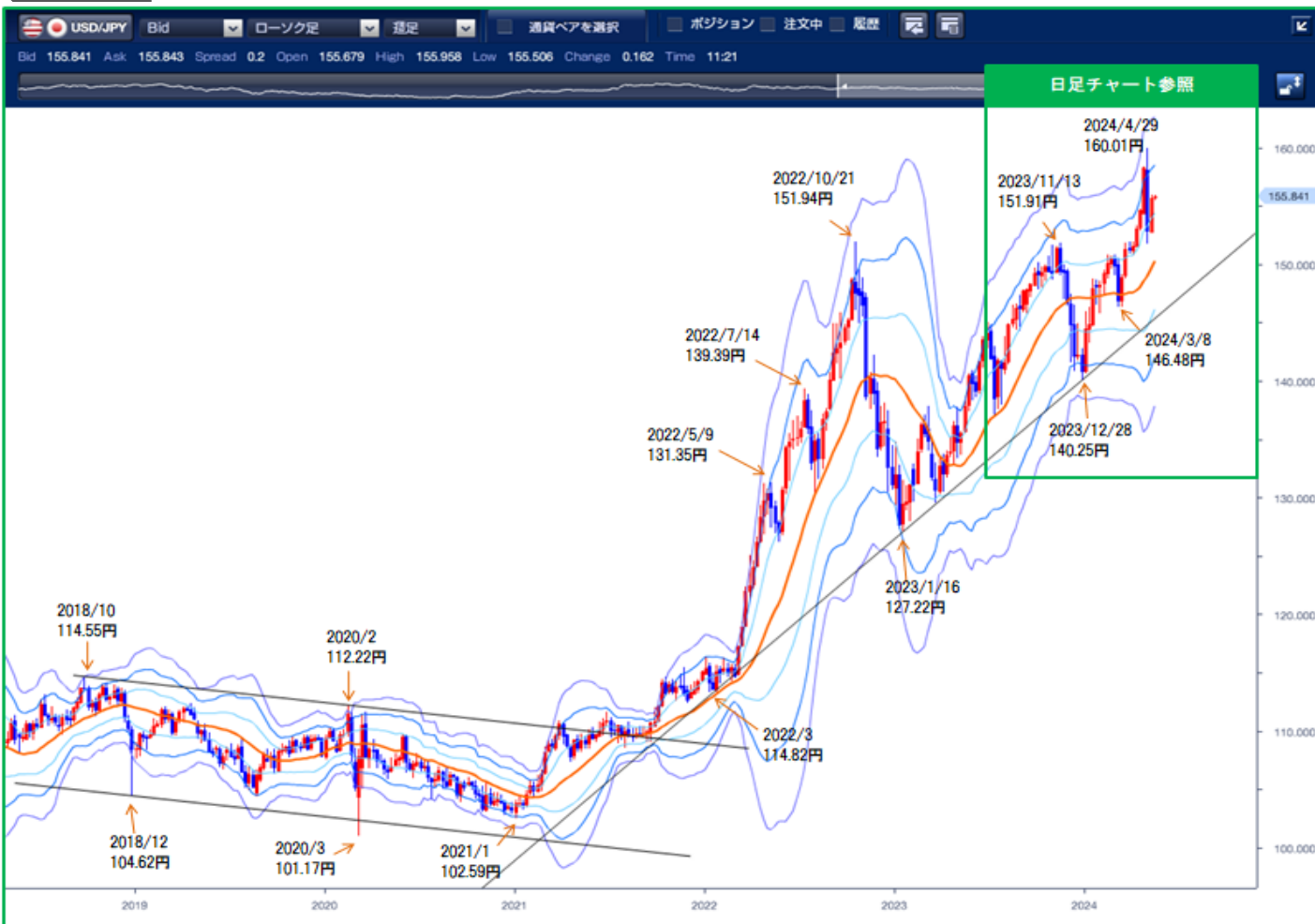


週足



長期概況

2021/1/6の安値102.59円を起点とした上昇トレンドは、2022年3月のFOMC会合における利上げ開始後、上昇ペースを早め、151.94円(2022/10/21)まで上昇しました。その後、政府・日銀による円買い介入や、米インフレ率の鈍化を理由に127.22円(1/16)まで下落しましたが、日米金利差を背景に、再び151.91円(11/13)まで値を戻しました。2023年末にかけて日銀による金融政策変更観測やFRBの早期利下げの思惑により140.25円まで下落、3月日銀会合で17年ぶりの利上げが決定されたものの、緩和的な金融政策は維持されると見方から再びドル買いが活発化し、4月には1990年以来の高値となる160.01円まで上昇しました。

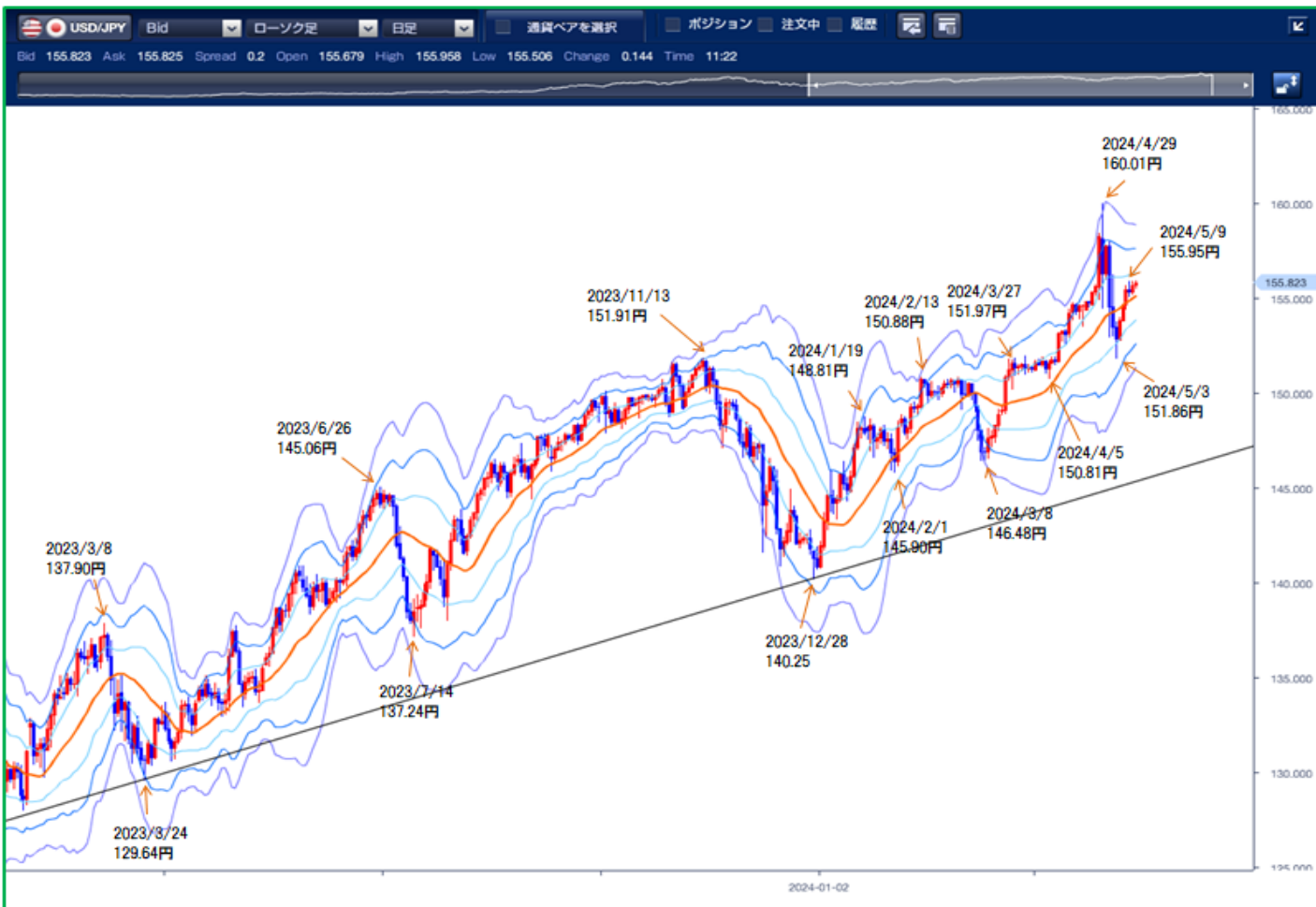
【2024/5/6~5/10】

今週のドル円は152.81円から始まり、高値は155.95円(5/9)、安値は152.81円(5/6)となっています。

イエレン米財務長官が、日本の為替介入に対して「こうした介入はまれであるべきで協議が行われることが期待される」との見解を示したことが伝わると、介入警戒感が後退し、週明けからドル買い円売りが優勢となりました。その後も堅調な地合いが継続し、週後半には一時155.95円まで上値を伸ばしました。ただし、156円の大台を手前に買いも続かず、その後は方向感を欠いた値動きとなりました。

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。

日足



今週の戦略

日足ボリンジャーバンドは、中心線が上向きとなっており、上昇を示唆しています。
 週足ボリンジャーバンドは、中心線が上向きで、上昇を示唆しています。
 以上のことから、5/13~5/17の週間予想レンジは以下の通りです。

◆ 予想レンジ 154.40円~157.00円

注目レート		テクニカル
上値②	157.00	・4/29高値160.01から5/3安値151.86のフィボナッチ61.8%戻し近辺
上値①	156.00	・4/29高値160.01から5/3安値151.86のフィボナッチ50.0%戻し近辺
下値①	154.40	・週足ボリンジャーバンド + σ 近辺
下値②	152.81	・5月第2週安値(5/6安値)

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。